どんごクラブ

津山だいすき!

わたしもひとこと

冬 休みだけでも学童保育を利用できますか?

現在、朝10時から午後2時まで仕事をしています。子どもが学校に通っている時はよいのですが、冬休みなどの長期的な休みの間だけでも学童保育に預けることはできますか?（東一宮・女性）

学童保育（津山市では通称「児童クラブ」または「放課後児童クラブ」と呼んでいます）は、保護者が仕事などで昼間不在になる家庭のおおむね10歳未満の児童を対象に、授業の終了後などに学校の余裕教室などを利用して、遊びや生活の場を提供しているものです。

各児童クラブは、それぞれ入退会や開設時間、料金などについて会則を定め、自主的に運営を行っています。また、各小学校区ごとに開設され、原則その学校に在学（入学）する児童しか入会できない児童クラブと、全学区を対象とした児童クラブがあります。冬休みなどの長期的な休みの間だけでも利用できる児童クラブもありますので、こども課へお問い合わせください。

▲北小ひなづる児童クラブ

問い合わせ先 こども課☎32-2065

未来をひっぱる津山人

美術で街も人も心豊かに

画家 保田扶佐子さん（押入出身）

スペイン・バルセロナに活動の拠点を置き、絵画や版画などを創作している保田扶佐子さん。毎夏帰国し、個展を開催されています。今回は津山の実家に帰られているところを訪ねました。

絵画の道へはどのように進んだのですか?

絵は幼いころから好きで、高校1年生の時には芸術科目で絵画を選択しました。しかし、2年生では音楽を選んだりと、その頃にはまだ絵の道に進むことは考えてもいませんでした。

高校卒業後は地元津山で就職したのですが、結局3年遅れで大学に進学することに。そこで絵を専攻したのですが、教育学部でしたので想像していたような勉強はできませんでしたね。

22歳で学生結婚し、卒業後は夫に付いて東京から大阪へと転勤の繰り返し。27歳の時「これからずっとこういう生活が続くのかな」と考えてしまいました。その時もう一度絵を描きたいと強く思ったのです。結局離婚して上京。東京フォルム洋画研究所に通うことにしました。そこでの勉強は厳しいものでしたが魅力的で、初めて本格的に絵の勉強をすることができました。

バルセロナに住むきっかけは?

東京で2年くらい勉強したところで、本場の絵画を見たいと思うようになりヨーロッパへ。美術館巡りをして、最終的にマドリードで1年間勉強しました。

帰国後はアルバイトをしながら、それまで学んできた具象画（対象物を具体的に描いた絵画）の総決算的な作品を描き、37歳で初の個展を開催しました。作品は完売し好評だったのですが、その頃には具象画に興味がなくなっていました。

▲バルセロナの自宅アトリエ

日本では次のステップへの手掛かりがつかめず、再びヨーロッパに渡ることに。ガウディやピカソなどがかつて暮らし、芸術を学ぶのに魅力的なバルセロナに落ち着き、美術学校に通うことにしました。そこでは彫刻やリトグラフ（石版画）を始めとするいろいろな版画技法を学ぶことができたのです。表現方法を模索するには、恵まれた環境でしたね。

今はどのような絵を?

抽象画に取り組んでいます。大人になれば子どもが持つ天真爛漫さがなくなりますが、それを失うことなくまっさらな感性で描く。そして『わたしのまだ知らない「自分」に出会える』絵を描きたいですね。新しい「自分」に出会えた時、つまりそのような絵が完成した時の達成感は何物にも替えがたいものです。これからも既成概念にとらわれずに自由に描き続けたいです。

今後の夢は?

バルセロナには多くの美術館があり、芸術的な雰囲気が濃厚で世界中から観光客が訪れます。しかし美術館がなければ殺伐とした街になっていたでしょう。

津山にも「つやま自然のふしぎ館」というすばらしい施設があります。スペインの友人が来日した時にはいつも案内するのですが、みんな感動して「バルセロナにあればヨーロッパ中から見学客が来るね」と言ってくれます。

津山には美術館がないのが残念ですね。美術は触れるだけで人の心を豊かにしてくれ、特に子どもに探究心や情緒を芽生えさせてくれるものです。津山に帰って来たら、芸術・文化の発信地を作りたいと考えています。津山の芸術・文化の発展に貢献できればうれしいですね。

「津山の芸術・文化に貢献したい」と語る保田さん。その言葉に保田さんの美術への真摯な思いが感じられました。

わたしのおすすめ

ふるさとの特産品が勢ぞろい

作州津山商工会 光井　学さん（押入）

今年で3回目の開催となる「作州津山ふるさと交流物産展」。合併により一つになった勝北・久米・加茂・阿波の各地区を中心とした津山市、そして隣接する奈義町の特産物や工芸品が一堂に会します。このような場を設けることで地域間交流を促進し、それぞれの個性を活かした豊かで活力ある地域づくりを推進することを目的として開催しています。

今回は、作州津山商工会が取り組んでいる全国市場（百貨店など）をターゲットとした特産品事業「地域資源∞全国展開プロジェクト」で開発・改良された特産品の初お披露目の場ともなります。作州地域の新たな特産品にご期待ください。

また、イベントとして2日間ともに餅投げを実施。ジャグリングや大道芸なども盛りだくさんで、家族みんなで楽しんでいただける催しとなります。

ぜひご来場いただき「見て、触って、味わって」楽しんでいただければと思います。

第3回津山ふるさと交流物産展

きんちゃい　みんちゃい　作州とくとく市

～地域資源∞全国展開プロジェクト　成果品発表～

とき 12月20日(土)、21日(日)午前10時～午後3時

ところ 地域交流センター（アルネ・津山4階）

出展特産品（予定） さば寿司、梅ゼリー、手作り豆腐、あん入りよもぎ餅、パウンドケーキ、巻き柿、黒大豆味噌、創作家具ほか

※詳しくは本紙12月号に掲載予定

問い合わせ先 作州津山商工会☎36-5533